

小型気象用レーダーの活用法と課題

【アンケート集約結果】

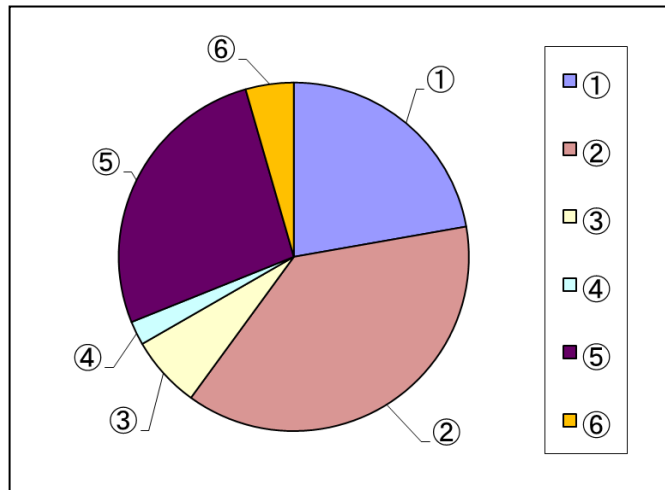
- 日時 (1) 講演Ⅰ 平成27年11月27日(金) 14時05分 ~ 14時35分
(2) 講演Ⅱ 平成27年11月27日(金) 14時45分 ~ 15時45分
- 会場 広島大学 東広島キャンパス 広島大学中央図書館「ライブラリーホール」
- 主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会
- 後援 中国地方非常通信協議会
- 参加者数/アンケート回収数 69名/39名 (回収率56.5%)

1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国情報通信懇談会
- ②中国総合通信局
- ③中国地方非常通信協議会
- ④新聞等
- ⑤上司・同僚・知人等
- ⑥その他

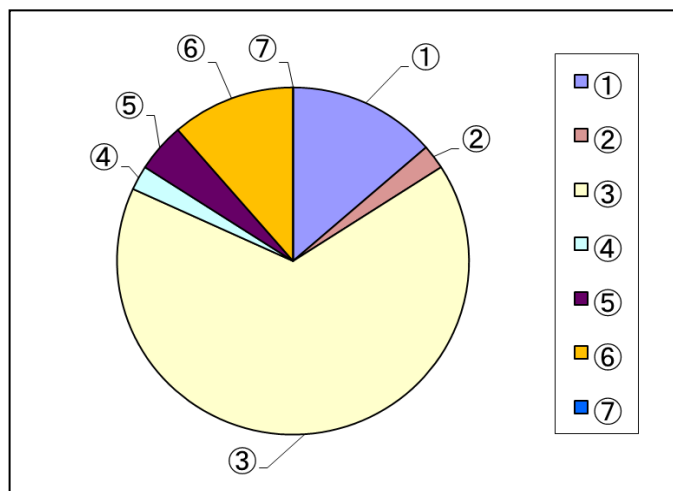
番号	回答数
①	10
②	17
③	3
④	1
⑤	12
⑥	2
計	45



どのような方法で

- ① HP
- ②メールマガジン
- ③メール
- ④記事等
- ⑤FAX
- ⑥直接聞いて
- ⑦その他

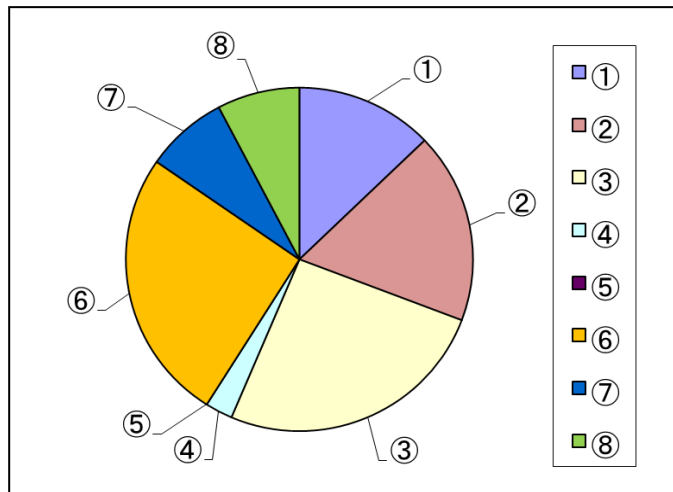
番号	回答数
①	6
②	1
③	29
④	1
⑤	2
⑥	5
⑦	0
計	44



2 貴方が所属する企業・団体等の主な分類を一つだけ○で囲んでください。

- ①製造・販売 ②エネルギー ③情報通信 ④放送 ⑤サービス ⑥公務
 ⑦その他の事業 ⑧個人

番号	回答数
①	5
②	7
③	10
④	1
⑤	0
⑥	10
⑦	3
⑧	3
計	39



3 本セミナー各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

- (1) 講演 I 演題 調査検討の概要等について
 講師 古野電気株式会社 システムソリューション部
 ソリューション開発課 主任 廣瀬 孝睦 氏

大変参考になった	11	興味がわく話だった	10
参考になった	24	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	0	おもしろかった	5
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. パワーポイントに動画を載せた説明は、初めてでした。
2. 干渉を除去するしくみについて、もう少し技術的な説明がほしかった。
3. 小型気象レーダーの必要性がわかったが、もう少し、調査検討の内容と結果を知れたらもっと良いと思いました。
4. これからもっと細かく情報を集めるよう、研究してください。
5. 山の陰を映像で表示。Cバンド、Xバンドの合成表示が可能になる？
6. 新しい周波数（X帯）を使用する意義、小型気象レーダーの必要性、現実のレーダー観測の様子を解説していただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。
7. 年々雨の降り方がちがってきているのが目にみえます。
8. お話しのレーダー利用が益々発達する事を望みます。
9. 住民の対応が一番ですね。
10. 土地土地の古来からの気象の言い伝えも大事です。

(2) 講演Ⅱ 演題 気象レーダーを利用した防災・減災について
 講師 広島大学大学院 工学研究院 社会環境空間部門
 副研究院長 教授 河原 能久 氏 (調査検討会座長)

大変参考になった	17	興味がわく話だった	11
参考になった	18	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	0	おもしろかった	3
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. やはり広島でも豪雨災害があり、今が一番、防災・減災をしていくチャンスだと思っています。
2. 自分の事として、地域も含め一体となって進める事が必要。そのためにはレーダーによる予測精度UPが必要。
3. 時間の関係上、省略したお話しが多かったように思われますので、詳しい話をゆっくり聞きたかったです。
4. アレイレーダーの早期実用化を期待したいです。
5. 解析画像のリアルタイム配信を望む。
6. 各バンドのレーダーの特性がよくわかった。また、雨量を面でとらえる事の重要性が理解でき、レーダーのデータを今後活かしたいと思った。
7. 大変わかりやすいご説明で、MPレーダーやX帯レーダーの意義や限界が理解できました。ありがとうございました。
8. 災害を予測する上で、レーダー技術を利用した各種情報の重要性を感じた。災害に見舞われた際は、常に自分のことであると認識し、早め早めの行動を心掛けるようにしたい。
9. Xレーダーを多数組み合わせて、精度良く、3次元的に図示できるので、参考になった。
10. 集中災害が多くなったので、このレーダーは有効であると思った。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. 電波を利活用するため、周波数の空き確保と収益が上がる周波数の割り当てが必要。
2. 電波干渉技術の向上により、一層の電波利用を望みます。
3. Xバンドレーダーの無免許化。
4. 人体に対する影響に関する研究状況を知りたいと思います。
5. 未来の放送技術 (8K、多視点、無線伝送など)
6. 保安分野での電波利用 (ミリ波やテラヘルツ波のイメージング) の現状。
7. テラヘルツ分光技術 (物体の同定) の現状。
8. 測位技術の未来。
9. 今後、様々な新たな無線技術が開発されていくことと思うが、免許制度については柔軟で迅速な対応を是非ともお願いしたい。

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. 今年やったドローンについて、どう進んでいっているか、どう進めていくのか、知りたい。
2. レーダーの民生機器への応用で、レーダーとインターネットを接続し、家庭レベルでスポットのデータを収集し、町内毎にツイッターなどで自動でつぶやくシステムは、どうか？
3. コンシューマー機器のレーダーの開発とIoTへの接続を検討する。
4. ラジオ技術の進歩、テレビ技術の進歩。